

クイックスタートガイド (behringer.com にてマニュアルをチェック)



EURORACK

UB2442FX-PRO

Ultra-Low Noise Design 24-Input 4-Bus Mic/Line Mixer with Premium Mic Preamplifiers and Multi-FX Processor

UB2222FX-PRO/UB1622FX-PRO

Ultra-Low Noise Design 22/16-Input 2/2-Bus Mic/Line Mixer with Premium Mic Preamplifiers and Multi-FX Processor

UB1832FX-PRO

Ultra-Low Noise Design 18-Input 3/2-Bus Mic/Line Mixer with Premium Mic Preamplifiers and Multi-FX Processor

JP 安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついていて、これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのもの

です。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

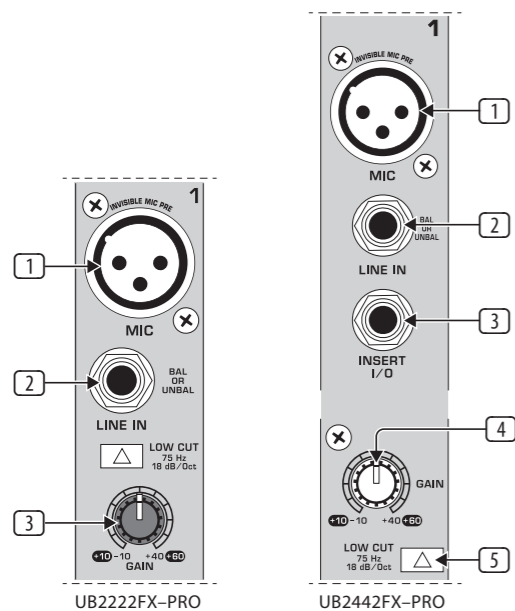
ペックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有
© 2013 MUSIC Group IP Ltd.
Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146,
Road Town, Tortola, British Virgin Islands

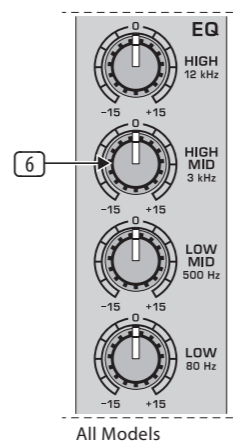
限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

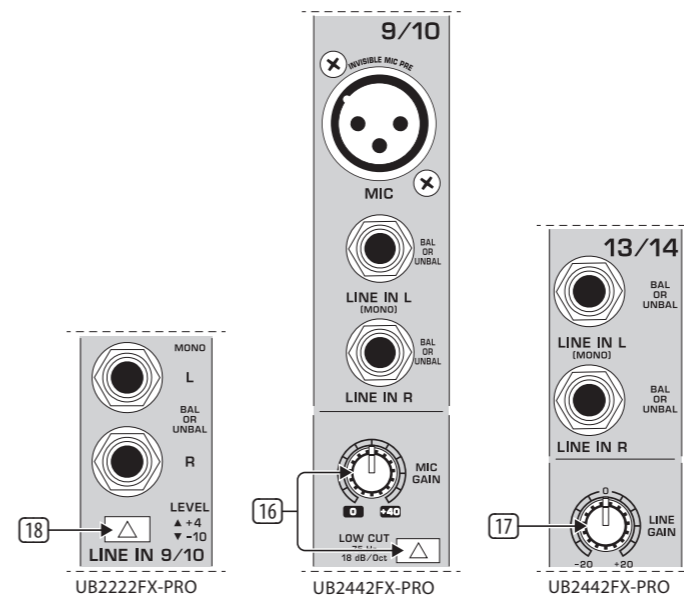
EURORACK UB2442FX-PRO/UB2222FX-PRO/UB1832FX-PRO/UB1622FX-PRO コントロール



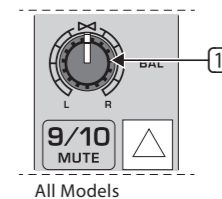
Connectors and controls of mic/line inputs



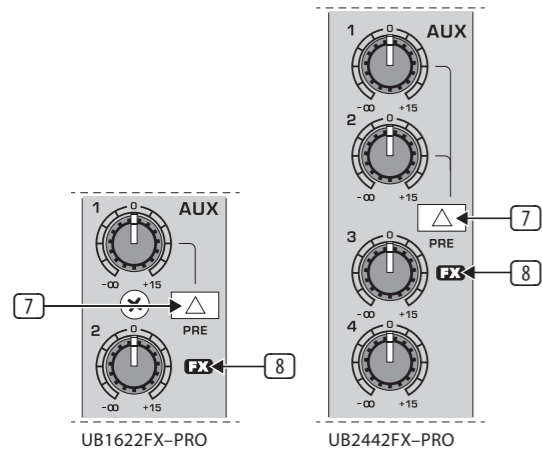
Equalizer of the input channels



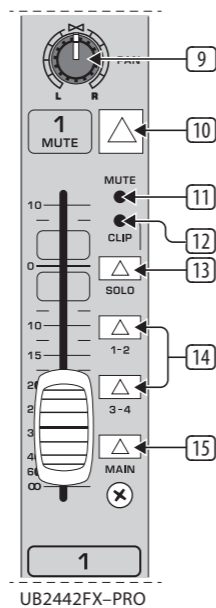
The various stereo channel inputs



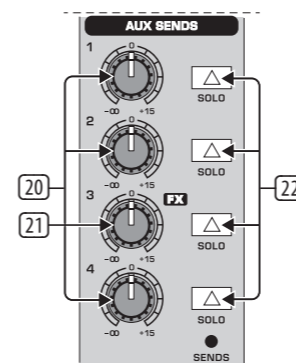
Balance control and mute switch



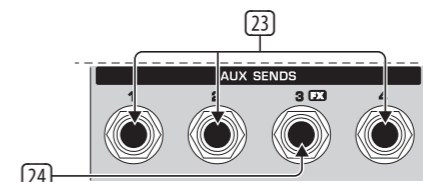
Aux Send control MON and FX in the channel strips



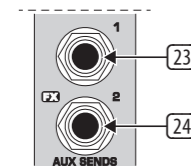
The panorama and routing controls and the channel fader



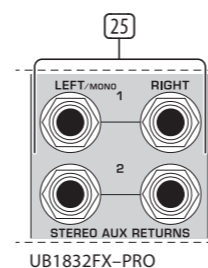
The AUX SEND controls of the main section



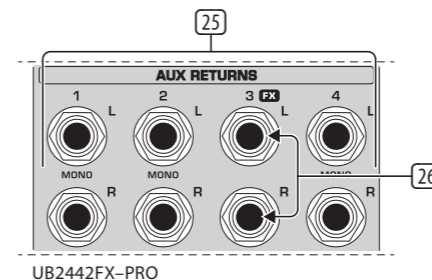
Aux Send jacks



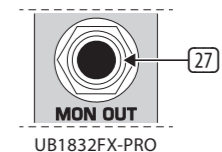
UB1832FX-PRO



The aux return connectors

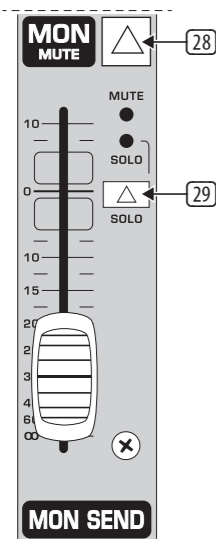


UB2442FX-PRO

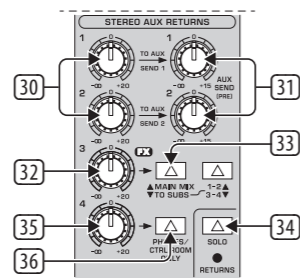


Monitor output of the UB1832FX-PRO

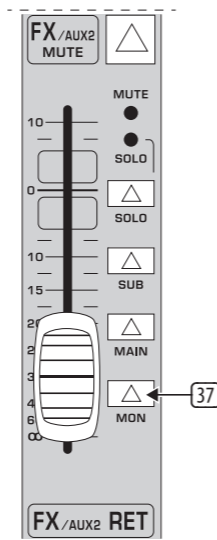
EURORACK UB2442FX-PRO/UB2222FX-PRO/UB1832FX-PRO/UB1622FX-PRO コントロール



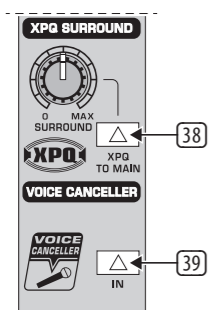
UB1832FX-PRO
Monitor fader of the UB1832FX-PRO



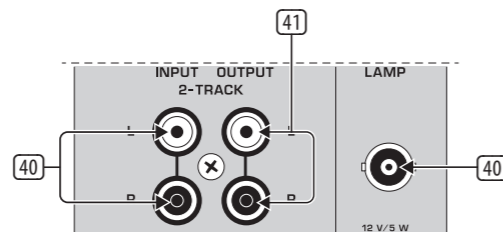
UB2442FX-PRO
Stereo aux return and stereo aux return (to aux send) controls



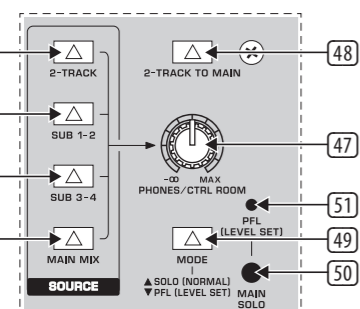
UB1832FX-PRO
The FX/AUX 2 return fader of the UB1832FX-PRO



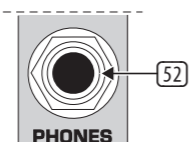
UB1832FX-PRO
Control elements of the surround function



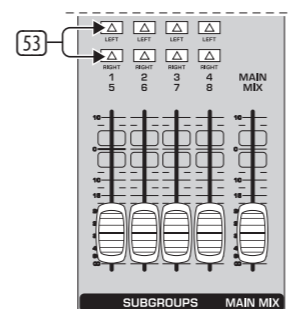
UB2442FX-PRO
2-track connectors and lamp socket



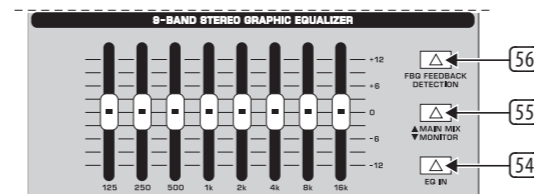
UB2442FX-PRO
Control room and phones sections of the UB2442FX-PRO



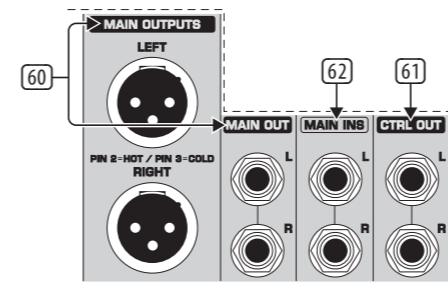
All Model
PHONES jack



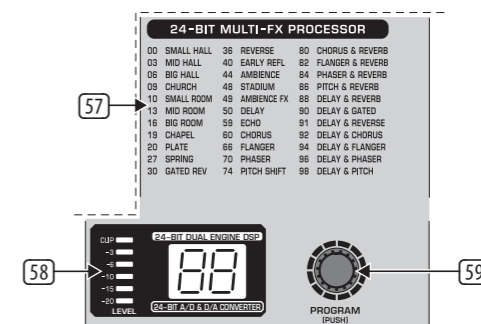
UB2442FX-PRO
Subgroup and main mix faders



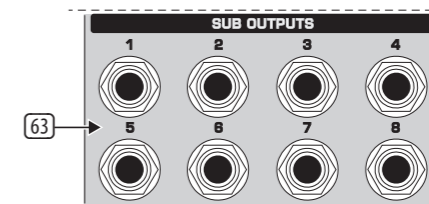
UB1832FX-PRO
The graphic stereo equalizer



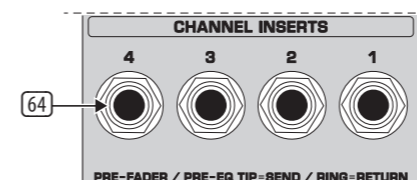
UB2442FX-PRO



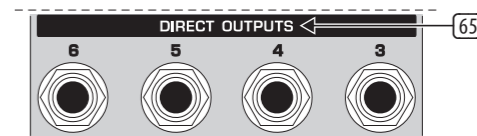
All Models
Digital effects module



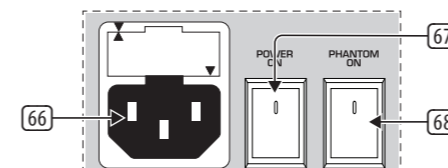
UB2442FX-PRO
Subgroup outputs



UB1622FX-PRO
Insert points



UB2442FX-PRO
Direct outputs



All models
Voltage supply and fuse

EURORACK UB2442FX-PRO/UB2222FX-PRO/UB1832FX-PRO/UB1622FX-PRO コントロール

コントロール

- ① **MIC** – 各モノラル入力チャンネルには、XLR ジャックによるバランス型マイク入力端子が装備されており、コンデンサーマイク用 +48V ファントム電源の供給もボタンを押すだけでおこなえる仕組みとなっています。
- ② **LINE IN** – 各モノラルチャンネルにはさらに 6.3mm フォンジャックによるバランス型ライン入力端子が装備されています。これらの入力端子にはアンバランス型プラグ (モノラルジャック) を接続することも可能です。
- ③ **INSERT** – ダイナミックプロセッサーやイコライザーを用いて信号を加工する際にルーピングポイント (インサート) を使用します。これらの各ルーピングポイントはフェーダー、EQ および Aux センドの前に位置します。
- ④ **GAIN** – GAIN コントローラーを使って入力ゲインを調節します。入力端子のいずれかに音源を接続 (またはその逆) する際は、このコントローラーを必ず左に絞らせてください。目盛りはふたつの異なる値範囲を示します。最初の値範囲 +10 から +60dB は MIC 入力端子に適用され、供給された信号の増幅を示します。
二つ目の値範囲 +10 から -40dB はライン入力端子に適用され、これは「感度」を示します。
- ⑤ **LOW CUT** – さらに本機の各モノラルチャンネルには傾斜の強い LOW CUT フィルターが装備されており、好ましくない低域周波数信号を削除することができます (18dB/0kt 75 Hz 時 -3dB)。
- ⑥ **イコライザー** – 高域バンド (HIGH) および低域バンド (LOW) にはシェルヴィング・フィルターを採用しており、高域・低域カットオフ周波数の全周波数の高低調整をおこなうことができます。高域バンドおよび低域バンドの各カットオフ周波数は 12kHz から 80Hz です。中域に関しては、1 オクターブフィルターを施したセミパラメトリック・サウンドコントロールが採用されており、100Hz から 8kHz までの調整が可能です。MID コントローラーにより、ブースト / カットの調整をおこない、FREQ コントローラーで周波数を設定します。
- ⑦ **PRE** – PRE スイッチにより、マークされた Aux センド経路をフェーダーの前で取り出すということを設定します (スイッチを押した状態)。
- ⑧ **FX** – FX で表示されている Aux センド経路は、内蔵エフェクトプロセッサーに直接つながっており、このためポストフェーダーおよびポストミュートとなっています。エフェクトプロセッサーに関する詳細説明は第 4 章「デジタル・エフェクトプロセッサー」をご参照ください。
- ⑨ **PAN** – PAN コントローラーにより、ステレオ領域内におけるチャンネル信号のポジションを設定します。
- ⑩ **MUTE** – MUTE スイッチにより、信号パスがチャンネルフェーダーの前で遮断され、メインミックス用のチャンネル音量が切られます。同時に該当チャンネルの Aux センド経路 (ポストフェーダー) を静止させ、モニター経路 (プリフェーダー) は作動したままとなります。
- ⑪ **MUTE-LED** – チャンネルの音量が切られたことを MUTE-LED 表示によって確認できます。
- ⑫ **CLIP-LED** – チャンネルのレベル信号が高くなりすぎると、CLIP-LED 表示が点灯します。この場合には、GAIN コントローラーを使用して前置増幅を抑え、必要に応じてチャンネル EQ の設定を確認して下さい
- ⑬ **SOLO** – SOLO スイッチにより、チャンネル信号をソロパス (Solo In Place) および PFL パス (Pre Fader Listen) へと導きます。これにより、メインアウト出力信号が影響を受けることなくチャンネル信号をモニタリングすることが可能となります。この際、モニタリングする信号はパノラマコントローラーとチャンネルフェーダーの前 (PFL、モノラル) もしくは後 (ソロ、ステレオ) で取り出されます。
- ⑭ **SUB (1~2 および 3~4)** – SUB スイッチにより該当のサブグループへ信号を送ります。UB2442FX-PRO には 4 種のサブグループ (1~2 および 3~4) が装備されています。
- ⑮ **MAIN** – MAIN スイッチにより信号をメインミックスへ送ります。
- ⑯ **LOW CUT および MIC GAIN** – 両操作部は UB2442FX-PRO の XLR コネクターにのみ適用します。これにより 75Hz (LOW CUT) 以下の周波数をフィルターに通したり、マイク (MIC GAIN) 用にレベル調整をおこなったりします。
- ⑰ **LINE GAIN** – このポテンシオメーターは UB2442FX-PRO のチャンネル 13~16 内のライン信号をレベル調整する際にご使用ください。
- ⑱ **LEVEL** – UB1622FX-PRO、UB1832FX-PRO および UB2222FX-PRO ミキサーの各ステレオ入力には、レベル調整用に LEVEL スイッチが装備されており、ここでは +4dBu ~ -10dBV 間の切替が可能です。-10dBV (ホームレコーディングレベル) に設定した場合、+4dBu (スタジオレベル) の場合に比べて入力感度が高くなります。
- ⑲ **BAL** – BAL (バランス) コントローラーはモノチャンネル上の PAN コントローラーと同様の機能を有します。左右の入力信号が左または右のメインミックスバス (もしくは奇数ないし偶数のサブグループ) へ出力される前の、相対的割合をこのバランスコントローラーで調節します。
- ⑳ **AUX SEND 1, 2 および 4** – AUX1 ポテンシオメーターによって各チャンネルから分岐されたサム信号のレベルを、AUX SEND 1 コントローラーで調整します。これに従い、AUX SEND 2 コントローラーは AUX 2 バス用のマスターコントローラー、AUX SEND 4 コントローラーは AUX 4 バス用として機能します。
- ㉑ **AUX SEND 3 (FX)** – FX ポテンシオメーターにより、外部 (もしくは内部) のエフェクト機器を使用した場合のエフェクト加工レベルを設定します。UB1622FX-PRO および UB1832FX-PRO では、この機能を AUX SEND 2 コントローラー (FX) でおこないます。
- ㉒ **SOLO** – SOLO スイッチにより、Aux 回路へ送ったオーディオ信号を PHONES/CTRL ROOM 出力を通じて個別にモニタリングし、レベル表示を確認することができます。
- ㉓ **AUX SEND** – ジャック AUX SEND ジャックは、モニターパワーアンプもしくは起動中のモニタースピーカースステムの入力部分へ優先的に接続してください。この際、該当の Aux 経路はプリフェーダーに切り替えておいてください。
- ㉔ **AUX SEND (FX)** – AUX SEND (FX) ジャックは、FX コントローラーを通して各チャンネルから取り出された信号を送り出します。ここにエフェクト機器の入力を接続し、FX バスのサム信号にエフェクトをかけることができます。エフェクトミックスの作成後、加工済みの信号をエフェクト機器の出力から STEREO AUX RETURN ジャックへ戻すことができます。
- ㉕ **STEREO AUX RETURN** – ポストフェーダー Aux 経路により作成したエフェクトミックスのリターン経路として STEREO AUX RETURN 1 ジャックが装備されていますので、ここに外部エフェクト機器の出力信号を接続してください。左側のジャックのみに接続がおこなわれている場合には、Aux リターン は自動的にモノラル出力となります。
- ㉖ **STEREO AUX RETURN FX** – チャンネル内の FX コントローラーで作成したエフェクトミックスのリターンプレイ経路として、STEREO AUX RETURN FX ジャックが装備されています。
- ㉗ **MON** で表示された UB1832FX-PRO の最初の Aux 経路は、モニターミックスに必要な信号を各チャンネルから分岐させ、MON SEND フェーダー上に送ります。
- ㉘ **MUTE** – モニター経路の音量を切るには、MUTE スイッチを押してください。
- ㉙ **SOLO** – SOLO スイッチは、モニター経路をソロ・バス (ポストフェーダーおよびポストミュート) および PFL バス (プリフェーダーおよびプリミュート) へと送り、この経路のチェックをおこなえるようにします。各バスのうちのどれを制御するかは、メインセクション内の MODE スイッチの位置により決定されます。
- ㉚ **STEREO AUX RETURN 1** – STEREO AUX RETURN 1 コントローラーはステレオ・ポットです。このコントローラーによ、メインミックス内に送られた信号のレベルを設定します。この入力をエフェクト・リターン経路として使用すると、チャンネルから送られるドライ信号にエフェクト信号がミキシングされます。
- ㉛ **STEREO AUX RETURN 1/2 (TO AUX SEND)** – 右側の両方の STEREO AUX RETURN コントローラーには、エフェクト併用モニターミックスとしての特別な機能が搭載されています。
- ㉜ **STEREO AUX RETURN FX** – UB1622FX-PRO および UB1832FX-PRO の各ミキサーでは、STEREO AUX RETURN 2、UB2222FX-PRO および UB2442FX-PRO では STEREO AUX RETURN 3 がこれに該当します。STEREO AUX RETURN FX コントローラーにより、AUX RETURN FX ジャックからメインミックスへ送られる信号のレベルを調整します。外部からの信号源を接続していない場合、このコントローラーが内蔵エフェクトモジュールの出力信号がここへ送られます。
- ㉝ **MAIN MIX / TO SUBS** – このスイッチが STEREO AUX RETURN FX ジャックを通じて流れてきた信号をメインミックス (押していない状態) もしくはサブミックス (押した状態) へと送ります。
- ㉞ **SOLO RETURNS** – さらにこのモデルでは、各 Aux リターンを一括してソロ・バスや PFL バスへ切り替えることも可能です。ソロを起動させると LED 表示が点灯します。
- ㉟ **STEREO AUX RETURN 4 (UB2442FX-PRO のみ)** – このコントローラーは他のステレオ Aux リターンコントローラーと同様の目的に使用されます。これに加え、PHONES/CTRL ROOM ONLY スイッチを使用すると、この Aux リターン経路のモニタリングが簡単におこなえます。
- ㊱ **PHONES/CTRL ROOM ONLY** – このスイッチにより、AUX RETURN 4 ジャックの信号を編集室出力やヘッドフォン出力へ送り出すことが可能となります。
- ㊲ **MON** – MON スイッチにより、AUX RETURN 2 ジャックの信号をモニター経路へ送り出すことが可能となります (チャンネルからのモニター信号に平行)。
- ㊳ **XPQ サラウンド機能 (UB1832FX-PRO のみ)** – XPQ TO MAIN スイッチにより、サラウンド機能のオン・オフ切り替えをおこなえます。このサラウンド機能とは、内蔵エフェクト機能によるステレオベース拡張効果です。これにより生き生きとした、透明感あふれるサウンドがお楽しみいただけます。SURROUND コントローラーによりエフェクト強度を設定できます。
- ㊴ **ボイスキャンセラー** – これは録音からヴォーカルパートのみをほぼ完全に切り除くことのできるフィルター回路です。このフィルターは、残りの信号に影響を与えずヴォーカル周波数のみを取り除くことができます。
- ㊵ **2-TRACK INPUT** – 2-TRACK INPUT ジャック (ピンラグ) は 2トラックレコーダー (DAT レコーダー等) の接続に適しています。もう 1 機の EURORACK や当社の ULTRALINK PRO MX882 などからの出力信号をこれらのジャックに接続し、ステレオライン入力として使用することも可能です。

EURORACK UB2442FX-PRO/UB2222FX-PRO/UB1832FX-PRO/UB1622FX-PRO コントロール

コントロール

- 41) **2-TRACK OUTPUT** – これらの接続端子は MAIN OUT と平行に配線されており、ステレオ・サムのアンバランス出力を可能としていますので、ここにレコーディング機器入力を接続してください。高精度 MAIN MIX フェーダーにより最終的なレベルを設定することができます。
- 42) **照明用コネクタ** – この BNC ジャックにミキサーライトを接続することができます (12V DC、最大 0.5 A)。
- 43) **2-TRACK** – 2-TRACK スイッチがレベル表示、CONTROL ROOM OUT 出力および PHONES ジャックへと 2-TRACK INPUT ジャックの信号を送ることにより、モニタリングスピーカーやヘッドフォンによるバックバンドのチェックがとて簡単になります。
- 44) **SUB 1-2 および SUB** – SUB 1-2 スイッチにより、サブグループ 1 および 2 の信号をこのパスに送ることができます。
- 45) **SUB 3-4** – 同様に SUB 3-4 スイッチによりサブグループ 3 および 4 の信号を操作します。(UB2442FX-PRO のみ)。
- 46) **MAIN MIX** – MAIN MIX スイッチにより、メインミックス信号を CONTROL ROOM OUT 出力、PHONES ジャックおよびレベル表示へと送ります。
- 47) **PHONES/CTRL ROOM** – このコントローラーを使用し、コントロールルーム出力レベルとさらにヘッドフォン音量を設定します。
- 48) **2-TRACK TO MAIN** – 2-TRACK TO MAIN スイッチを押すと、メインミックスへの 2トラック入力起動し、追加入力 (バンド挿入、MIDI 楽器およびさらに加工する必要のないその他の信号源用) として 2-TRACK INPUT を使用することが可能となります。同時に、この 2-TRACK TO MAIN スイッチによりメインミックス テープ出力間の接続を遮断します。
- 49) **MODE** – MODE スイッチにより、各チャンネルの SOLO スイッチの機能を PFL (Pre Fader Listen) とするかソロ (Solo In Place) とするかを設定します。
- 50) **MAIN SOLO** – チャンネル スイッチもしくは Aux センド・ソロ・スイッチを押すと、MAIN SOLO LED ランプが点灯します。この際、MODE スイッチは「Solo」にセットしておいてください。
- 51) **PFL** – PFL LED 表示はピークメーターが PFL モードにセットされていることを示します。

- 52) **PHONES** – ジャック – この 6.3 mm ステレオフォンジャックにはヘッドフォンを接続することができます (UB2442FX-PRO の場合、2 つの両方用ジャック)。PHONES 接続端子へ送られる信号はコントロールルーム出力により取り出されます。
- 53) **LEFT/RIGHT スイッチ** – サブグループフェーダーの上部に位置するスイッチにより、サブグループ信号を割り当てる左右のメイン・バスを選択することができます。同様に左右両方のバスの使用もしくは未使用の選択もおこなえます。両方のバスを使用しない場合、サブミックスは該当のサブグループ出力にのみ送られます。
- 54) **EQUALIZER** – このスイッチにより、グラフィック・イコライザーを起動させます。
- 55) **MAIN MIX/MONITOR** – スイッチが上部ポジションにある場合、ステレオイコライザーでメインミックスを加工することができます。この場合、モニターミックスはイコライザーによる関与を受けません。スイッチが押された状態にある場合、イコライザーはモニターミックス (モノラル) を加工することとなります。この際、メインミックスへの関与はありません。
- 56) **FBQ フィードバック検知** – このスイッチで FBQ フィードバック検知システムを起動させます。フィードバック周波数が検出されると、周波数バンドフェーダー上にある LED が点灯します。フィードバックを抑制するためには、該当する周波数帯域のフェーダーを下げて下さい。グラフィックスステレオイコライザーのスイッチをオンにすると、この機能が使えるようになります。
- 57) **24-BIT 多重効果プロセッサ** – ここに多重効果プロセッサの全ての前もって作成したプログラムの概要を了解できます。この挿入された作用モードにより高品質の標準作用を提出し、例えば、反響、合唱、テープ位相校正、エコーと様々な組み合わせる役割です。通路の補助発送効果と補助発送効果主なコントローラーによりプロセッサの入力信号を確認できます。
- 58) **LEVEL** – エフェクトモジュールの LED レベル表示が常時充分なレベル高を表示するようにしてください。Clip-LED 表示がレベルピーク時にのみ点灯するように心がけてください。エフェクトプロセッサがクリッピングされると、Clip-LED が継続点灯し、耳障りな歪みが発生します。

- 59) **PROGRAM** – PROGRAM コントローラーを回転させ、エフェクトプリセットを選択します。ディスプレイ上にセットされたプリセット番号が点滅表示されます。ボタンを押すと選択中のプリセットが確定され、点滅が止まります。選択プリセットの確定にはフットスイッチの使用も可能です。
- 60) **MAIN OUTPUTS** – 各 MAIN 出力には、+4 dBu を標準とするバランス型 XLR ジャックが装備されており、ここから MAIN MIX 信号を導きます。
- 61) **CONTROL ROOM OUTPUTS (CTRL OUT)** – 通常コントロールルーム出力は編集室内でモニター機器と接続され、ステレオ・サムおよび (必要に応じ) ソロ信号を送ります。
- 62) **MAIN INS (インサート)** – これらはメイン・サムのルーピングポイントです。各ルーピングポイントはメイン・サム・アンプの後、各メインフェーダーの前に位置します。
- 63) **SUB OUTPUTS** – 各サブグループ出力はアンバランス型です。チャンネルフェーダーの横に位置する SUB スイッチ (UB2442FX-PRO の場合、1~2 もしくは 3~4 スイッチ) により、各サブグループへ送られたチャンネルのサム信号がこれらのサブグループ出力から送り出されます。
- 64) **ルーピングポイント (インサート)** – ルーピングポイントおよびインサートは、ダイナミックプロセッサやイコライザーを用いた信号の加工にその実用性を発揮します。通常ドライ信号にエフェクトをかけようとするホール装置や他のエフェクト装置とは異なり、ダイナミックプロセッサでは信号全体の加工をおこなえます。
- 65) **DIRECT OUTPUTS** – UB2442FX-PRO のダイレクト出力 (モノラル入力チャンネル毎に 1 個) は、複数トラックを同時にレコーディングする際に大変適しています。アンバランス出力のフォンジャックはポスト EQ、ポストミュートおよびポストフェーダーとして配線されています。
- 66) **ヒューズホルダー / 標準 IEC コネクタ**
- 67) **POWER スイッチ** – POWER スイッチでミキサーの電源を投入します。電源コンセントに接続する際にこのスイッチが「オフ」になっていることをご確認ください。

- 68) **PHANTOM スイッチ** – PHANTOM スイッチにより、モノラルチャンネルの XLR ジャックへのファントム電源供給機能を起動させます。この機能はコンデンサーマイクを使用する際に必要となります。ファントム電源供給機能が起動されると、赤色の +48V LED ランプが点灯します。通常はダイナミックマイク (バランス型) のご使用も可能です。不明点に関してはマイクの各製造元にお問い合わせください。

behringer.com にてマニュアルをチェック

	UB2442FX-PRO	UB2222FX-PRO	UB1832FX-PRO	UB1622FX-PRO
マイク入力 (IMP インヴィジブル・マイク・プリアンプ)				
タイプ	XLR 電子バランス入力、別系統入力			
Mic E.I.N. (20 Hz ~ 20 kHz)				
@ 0 Ω 入力インピーダンス	-134 dB / 135.7 dB 出力スケール			
@ 50 Ω 入力インピーダンス	-131 dB / 133.3 dB 出力スケール			
@ 150 Ω 入力インピーダンス	-129 dB / 130.5 dB 出力スケール			
周波数帯域	<10 Hz から 150 kHz (-1 dB)、<10 Hz から 200 kHz (-3 dB)			
増幅域	+10 ~ +60 dB			
最高入力レベル	+12 dBu @ +10 dB ゲイン			
インピーダンス	約 2.6 kΩ / バランス			
S/N 比	110 dB / 112 dB 出力スケール (0 dBu In @ +22 dB ゲイン)			
歪み率 (THD+N)	0.005% / 0.004% 出力スケール			
ライン入力				
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック電子バランス入力			
インピーダンス	約 20 kΩ / バランス / 10 kΩ アンバランス			
増幅域	-10 ~ +40 dB			
最高入力レベル	30 dBu			
フェードアウト減衰 (クロストーク減衰)				
メインフェーダーが閉じている場合	90 dB 出力スケール			
チャンネル音量を切っている場合	89 dB 出力スケール			
チャンネルフェーダーが閉じている場合	89 dB 出力スケール			
周波数帯域				
メイン出力へのマイク入力				
<10 Hz ~ 90 kHz	+0 dB / -1 dB			
<10 Hz ~ 160 kHz	+0 dB / -3 dB			
ステレオ入力				
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック電子バランス入力			
インピーダンス	約 20 kΩ			
最高入力レベル	+22 dBu			
EQ モノラルチャンネル				
Low	80 Hz / 7 15 dB			
Mid Sweep	100 Hz ~ 8 kHz / 7 15 dB			
High	12 kHz / 7 15 dB			
EQ ステレオチャンネル				
Low	80 Hz / 7 15 dB			
Low Mid	500 Hz / 7 15 dB			
High Mid	3 kHz / 7 15 dB			
High	12 kHz / 7 15 dB			
AUX センド				
タイプ	6.3 mm モノラルジャック、アンバランス出力			
インピーダンス	約 120 Ω			
最高出力レベル	+22 dBu			

	UB2442FX-PRO	UB2222FX-PRO	UB1832FX-PRO	UB1622FX-PRO
ステレオ Aux リターン				
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック電子バランス入力			
インピーダンス	約 20 kΩ バランス / 10 kΩ アンバランス			
最高入力レベル	+22 dBu			
メイン出力				
タイプ	XLR 電子バランス出力および 6.3 mm ステレオフォンジャック、バランス出力	XLR 電子バランス出力および 6.3 mm ステレオフォンジャック、バランス出力	XLR 電子バランス出力および 6.3 mm ステレオフォンジャック、バランス出力	フォンジャック出力、アンバランス出力
インピーダンス	約 240 Ω バランス / 120 Ω アンバランス			
最高出力レベル	+28 dBu	+28 dBu	+28 dBu	+22 dBu
コントロールルーム出力				
タイプ	6.3 mm モノラルジャック、アンバランス出力			
インピーダンス	約 120 Ω			
最高出力レベル	+22 dBu			
ヘッドフォン出力				
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック、アンバランス出力			
最高出力レベル	+19 dBu / 150 Ω (+25 dBm)			
DSP				
コンバーター	24 ビット Sigma-Delta、64/128 倍オーバーサンプリング			
サンプリングレート	40 kHz			
メインミックス・システムデータ²				
メインミックス @ -∞、チャンネルフェーダー @ -∞	-100 dB	-100 dB	-100 dB	-101 dB
メインミックス @ 0 dB、チャンネルフェーダー @ -∞	-87 dB	-93 dB	-93 dB	-96 dB
メインミックス @ 0 dB、チャンネルフェーダー @ 0 dB	-80 dB	-81 dB	-81 dB	-83 dB
電源供給				
供給電圧	100 から 240 V ~、50/60 Hz			
消費電力	47 W	46 W	43 W	37 W
ヒューズ	100 - 240 V ~ : T 1.6 A H 250 V			
電源アダプター	標準 IEC コネクター			
外形寸法および重量寸法 / 重量 (正味重量)				
(高さ x 幅 x 奥行き)	インチ 135 x 440 x 420 mm	インチ 90 x 430 x 355 mm	インチ 90 x 430 x 355 mm	約 3.8 x 11.9 x 13.8" 英寸 97 x 301 x 351 mm
重量 (正味重量)	約. 6.6 kg	約. 5.5 kg	約. 5.3 kg	約. 4.3 kg

計測条件:

- 0 dBu あたり 1 kHz rel.、20 Hz ~ 20 kHz、ライン入力、メイン出力、ゲイン @ ユニティー
- 20 Hz ~ 20 kHz、メイン出力における計測。チャンネル 1~4 ゲイン @ ユニティー、ニュートラル サウンドコントロール、全チャンネル メインミックス設定、チャンネル 1/3 左端、チャンネル 2/4 右端レファレンス = +6 dBu。

BEHRINGER 社は、最高品質水準の維持にむけた努力を常時おこなっています。必要とみなされた改良等は予告なくおこなわれますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違することがあります。

その他の重要な情報

JP

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group デイラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



We Hear You